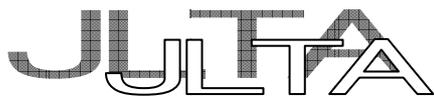


日本ことば療法学会



Japanese Language Therapy Association

発行 一般社団法人発達支援協会 年2回発行(6月・12月)

〒452-0821 名古屋市西区上小田井2-98

TEL&FAX: 052 (505) 5255

<http://www.seepa.jp/u/nihon-kotoba-ryohou-gakai>Eメール: takada@aroma-nagoya.com 発行人: 堀田喜久男

第3回 日本ことば療法学会

開催場所: 愛知県名古屋市

日付: 平成27年5月30・31日(土曜日・日曜日)

テーマ【積みかさねで・ことばを育む】

30日: 学会認定「ことば療法士」を目指す方のセミナー

31日: 第3回 日本ことば療法学会 開催

ことば療育センター設置 準備活動(同封チラシ参照)

言葉の療育は早期に開始し、繰り返し実践していくことで、言葉は積み重なっていきます。特に幼児から学童期での時期が大変重要になります。ことばの発達に悩んだ際に、気軽に相談・実践・指導法を学ぶことができる「ことば療育センター」の設置を推進する活動をしていきます。

【日本ことば療法学会は】

当学会は障害児・者のことばの療法を調査・研究、発表、実践を通して療法の普及並びに増進を図り、障害児・者のことばの獲得、言葉によるコミュニケーション能力を高めることを目的とする。

♥INDEX♥	第3回 日本ことば療法学会(名古屋)	1
	発語を促し学習能力を育てる音楽療法 堀田 喜久男 . . .	2
	ことばの音楽療法	3
	自然に出た感動の(♪みかん・ラソソ) 長鎌 明美 . . .	4
	堀田メソッドを活動に導入して 竹内 笑子 . . .	5
	堀田メソッドを使った音楽療法 深谷 靖子 . . .	6
	コラム・新商品の紹介(ことば音楽療法) 尖戸 理恵 . . .	7
	認定教室の紹介 / 事務局より	8

～発語から知育へ～

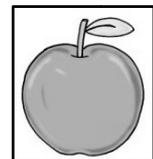
ことば音楽療法の個別セッションモデル（初期）

（グループセッションはこれを適宜変更して行う）

発語音楽療法研究会

堀田喜久男

1. 337 拍子を両手で打つ。（ピアノなどで伴奏をする。以後すべての場合に活用する）
2. 始めるの歌♪ “○○ちゃん（くん）” げんきですか？は～いげんきですよ。（省略してもよい）。
♪ “○○ちゃん（くん）” こんにちは せんせいこんにちは。
♪ は、は、はじめる、あそび（べんきょう）をはじめる。
3. おもちゃでやります（これはなんですか？ どれでやりますか？：抑揚補助技法で）
* 音声指示などをする場合には抑揚補助技法を用いる。
例：りんごでやります：りんごを両手に持ち拍打ちをしながら
♪ りんご、りんご、りんごとりんご。を歌う（聞かせる）。
（初期の場合はりんごとりんごでゆっくり拍打ちをしてから始めるとよい）
3 回ほど歌ったら、歌の終わりの ♪（1 拍）のとき、「ウンチャをやります」と言い、
きらきらぼしのリズム反応をさせ、各フレーズの終わり、7～8 拍で
「りんご」を言わせる（聞かせる）。（時間の都合によっては省略してもよい。）
・ 終わったら「りんごをかえすを言わせる（聞かせる）。
続いて、りんごのほかの数種の玩具で同じようにやる。
4. 体の部位の歌
両手を開いて、パーを長く言ってから♪ パパパ、パパパ、パパパ/パパパ。をする。
ピー（ちよき）、グー、いない、いない、パーも同じようにする。
・ ♪ あたま、あたま、じぶん（ぼーく、わたし）のあたま。と頭を軽く拍打ちしながら歌う（聞く）。
・ 耳、ほっぺ、肩、おなか、足等も同じように行う。
・ 歯、手、目、毛（1 音節語）も前記のパーと同じようにして行う。
5. 母音の歌・マ行音で、前記のパーと同じようにして行う（時間の都合で省略可）
6. 終わりの歌
♪ “○○ちゃん（くん）” げんきでしたか？は～いげんきでしたよ（省略可）
♪ お・お・おわる、あそび（べんきょう）をおわる。
♪ れい、ありがとうございました。



* この後ドミソの分散和音を弾いて終わるのもよい。

脳梗塞による失語症（運動障害性構音障害）から 自然に出た感動の（♪みかん・ラソソ）

長鎌 明美

82歳10ヶ月、母は脳梗塞で突然、右半身の機能、そして言葉を失いました。命を救っていただいた喜びの反面、この状態を理解し受け止めなければならない母と家族の苦悩。特にコミュニケーションが全く取れないことにより、日に日にお互いのストレスは増していきました。身体的な回復は日々顕著でしたが、発語（無機質なトレーニング・・・アイウエオ表の音読。動物などの絵を見て認識し、発声する。これらはとても重要な訓練だとは思いますが、母は子ども扱いされた気持ちになってトレーニングを嫌がりました。）はうまく進まず、加えて高次脳機能障害により感情のコントロールがうまくいかない母は、話せない苛立ちから、突然怒ったり泣き出したり、意欲を失ったりすることがしばしばあり、私は母に話しかけるのがだんだん怖くなっていました。その代わりに車いすを押しながら、できるだけ沢山歌いました。

ある日私が「ふるさと」を口ずさむと、不思議なことに母も「♪うさぎ お～いし かのやま～」と、歌っているのです！「え！歌ってる！どうして？？？」と悶々としていたちょうどそのとき新聞で、堀田先生のセミナー「歌えればはなせる！」の記事を見つけました。「これだ！」2日間のセミナーはまさに「目から鱗」の衝撃の数々でした。私は入院中の母のもとへ駆けつけ、「♪みかん・（ラソソ）」と動作を付けてアプローチしました！すると、母もすぐに大きな声で、「♪みかん・（ラソソ）」と返してくれたのです！

驚きと嬉しさでもう2人で抱き合っ泣きました！母は「みかん（ラソソ）～みかん（ラソソ）～」と頭を振って踊りながら何度も繰り返しました。その時の自信に満ち溢れた笑顔！忘れられません。「抑揚」を付けることによって、こんなにはっきり言葉が出た！母も自分の口から出た言葉に自信と意欲が吹き出て、この日から「明るく」「前向きに」そして、何より「楽しく」単語が出るようになりました。「文」への移行もわりとスムーズ（ズボンをは～く・ラソソソ ソーラ トイレにい～く）でした。歩行、作業の訓練も「あるく～ソラソ～」「ひとつ～ふたつ～ソラソ～ソラソ～」と、楽しみながら自然に行動と一体化していきました。複雑な会話、構音は本当にまだまだですが、「魔法のラソソ」に心から感謝です。「やらされてる」ではなく「やりたい気持ち」が芽生えてきて、「楽しみながら」訓練できるようになったように思います。もっともっとこのメソッドを勉強して、母に合ったセッションを模索しながら「継続」していこうと思っています。



堀田メソッドを活動に導入して

特定非営利法人 ところっ子
児童発達支援事業所 野花
竹内笑子

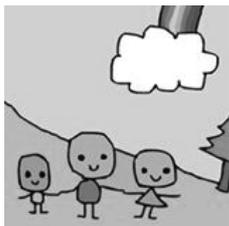
野花(児童発達支援事業所)は、平成25年度4月から児童発達支援・放課後等デイサービスの事業を開始しました。多くの子どもたちと関わっていく中で、自分の気持ちを誰かに伝えることができることの大切さ、自分が理解している言葉の有無で活動の幅が大きく変わっていくことを強く感じてきました。そういった状況の中で、堀田先生のことば音楽療法を知り勉強させてもらう機会を頂きました。

26年度の夏に同事業所のスタッフ二人も勉強の機会を頂き、野花の活動の中にことば音楽療法を取り入れいく体制を作ることができました。そして、平成26年9月から団体セッション(2~8名)を取り入れ始めました。児童発達支援の枠では、朝の会を堀田メソッドで行い、玩具の歌や数え歌、絵本を中心にプログラムをたてています。また、放課後等デイサービスでは、活動時間の中に堀田メソッドを取り入れて玩具の歌や数え歌、オノマトペ、絵本を中心にプログラムをたてています。

9月当初は、椅子に座ることも困難だった子ども達も“座って待つことで楽しいことが始まる”という認識に変わり、9月の下旬には終わりまで座っていられるようになりました。言葉として大きな変化がでてきている児童は、未だ見受けませんが保護者さんから「家で堀田メソッドの動きをしていたよ！」などの家での子どもの様子を教えて頂くこともあり、子ども達の中に少しずつ堀田メソッドが浸透していることを感じられる嬉しい出来事もあります。

今後は、野花でことば音楽療法の活動をしていたら理解言語が増えてきた、言葉が明瞭になってきたという姿が見られる様に子ども達と活動を楽しみながら、取り組んでいきたいと考えています。団体セッションならではの課題も多いですが、スタッフ同士で活動の振り返りをしながらスキルアップを目指し、子ども達一人ひとりの発達にあった活動が提供していける様に努めていきたいと思えます。

特定非営利法人ところっ子 〒479-0831 愛知県常滑市錦町4丁目38番地の2
電話 0569-89-0183



堀田メソッドを使った音楽療法

どれみだんけ

療育責任者 深谷 靖子

東大阪市で児童デイサービス「どれみだんけ」を開所して4か月がたちました。現在2歳～17歳までの80名の方がどれみだんけに通ってくれています。その大半の方が「堀田メソッド」を希望され、ほぼ毎日ラソミの音が響き渡っています。

「今まで言語訓練を受けてきたけど、ちっとも楽しそうではないし、とにかくじっと座っていないので押さえつけるのが大変で・・・」と言われて来所された4歳児の保護者さん。8月から毎週堀田メソッドを受けに来てくださるようになり、マラカスの歌や数え歌を毎回取り入れていくと、とても楽しそうに参加してくれるようになりました。はじまるよ！の歌を歌い始めると自分から椅子を出して座るようにもなりましたし、マラカスを持って「ウンチャウンチャ」もとても上手に動かせるようになりました。毎回レッスンを見学されている保護者さんは子どもさんの成長をととても喜んでくださり、家でも同じように歌ってくださっているそうです。いろんな動物や乗り物を数えていくうちに、「いち、にい、さん、しい・・・」と口ずさむようにもなり、言葉にメロディーをつけることがこんなにも記憶しやすいものになるとは、指導している講師陣もびっくりでした。

どれみだんけでは個人レッスンとは別にグループレッスンもしています。

- ・未就学グループ（4つ）
- ・小学生グループ（2つ）
- ・中学生グループ（2つ）があり、現在中学3年生の数人が来年高校生になると同時に高校生グループもできる予定になっています。

グループレッスンではみんなで2語文や3語文を作ったり、連想しりとり歌でいろんな物を連想したりとグループならではの取り組みをしています。

「いすに・・・」と講師が言うと「いすに座る」と誰かが言い、

「いすを・・・」と言うと、「いすをトイレに持って行く！」などなど、面白い文章まで飛び交っています。「本は・・・」と私が質問した時は、「本は思い出がつまっている」と言ってくれた小学生がいて、見学されていた保護者の方々から思わず拍手が出ました。普段学校ではじっとしていられず怒られてばかりの男児ですが、ここではみんなのヒーローになり、いろんな言葉を発してくれます。

どれみだんけでは子ども一人ひとりが自分らしくいられる場所を目指すとともに、堀田メソッドを使って言葉をどんどん引き出せる場所でありたいと思います。そして私達講師は子ども達から毎日たくさんのことを教えてもらっています。それをしっかりと受け止め、今後も指導にあたっていきたいと思います。

コラム⑥

央戸理恵

セラピストとして必要なものの一つとして「寄り添う」ということがあると思われるが寄り添うとはどんなことか考えてみた。いろいろあると思うが、静かに見守ると共に、一緒に「当事者」としてあたることも大切と感じる。クライアントの子どもや家族の目線、生活、一緒に目指す方向性を考え、一つ一つその子に合ったものを一緒に「親身」になって行うことはあたりまえのようでなかなか難しい。いろんなケースもある。踏み込み過ぎるといらぬお世話になったり、周りが見えなくなったりしてしまう。上手な距離感もあつたうえで家族の悩みを少しでも共有したい。

高齢者が対象の場合も同じだが、セラピストが接する時間以外の見えない場面、いろんな角度からの思いや生活（本人の人生、体調、家族、施設・病院職員の考えなど）に対し、想像力、洞察力がないと、おめでたい独りよがりな療法になってしまう。十人十色な療法に近づくには人生経験や勉強継続が必要と痛感する。

集団セッションを行う中でも個人に着目し、例えば一人で声を出すのが恥ずかしいお年寄りには集団では出来る場合が多いが、その時に、その方個人が効果的に行っているかを集団の中で一人ひとり見届けないといけない。そしてさらに集団という力を借りて、個人に有効な方法を追及していかないとよいセラピストとはいえない。難しい。

ある高齢者の多い病院で発音練習をしている場面を見た。形として行っているが、効果的な進め方というには今一つに感じられた。大きくコピーされた文字カード見せて事務的にただ繰り返し発音しているというもの。なにも行わないより良いと思うが、その行為の裏に対象である高齢者の「人間」としての心の輝きが隠れてしまっている。それを引き出すセラピストの「語りかけ」の話術が必要になる。

ことば音楽療法 カタログ

『ことば音楽療法』の教材・教具のカタログが2月に完成致します。ご希望の方は通販ショップ「きらきら言音堂」よりご請求下さい。会員の皆様には後日お届け致します。

きらきら言音堂←検索



一般社団法人 発達支援協会 認定校・教室

- ・ 埼玉県 【加藤音楽教室】 主宰者 加藤千子 HP <http://syougaiji-ongakukato.jp/>
- ・ 大阪府 【さゆり音楽学院】 主宰者 土田靖子 HP <http://www.seepa.jp/u/hatugo-osaka/>
- ・ 愛知県 【SiSiDo Music room】 主宰者 央戸理恵 HP <http://www.seepa.jp/u/piano-hatugo/>
- ・ 京都府舞鶴：【でんでんむしの会】 松浦光子 (さゆり音楽学院)
- ・ 三重県 【樋口音楽教室】 主宰者 樋口なおみ
- ・ 福岡県 【ことばの音楽教室】 主宰者 工藤知子
- ・ 福岡県 遠賀郡：『りずむの木』 主宰者 石井純子
- ・ 京都府 舞鶴市：『さがん発語音楽教室』 主宰者 目美香



■認定校

- ・ 名古屋市【発語音楽研究所】 療育責任者：堀田喜久男 (発語音楽療法←検索)
- ・ 東大阪市【どれみ だんけ】 療育責任者：深谷靖子 (どれみだんけ FACEBOOK)

ことば音楽療法の認定校・教室です。教室か事務局にお問い合わせ下さい。

認定校・認定教室を全国にて募集しております。電話：052(505)5255

今年も多くの方が
『ことば音楽療法指導者セミナー』
に参加頂きました。

平成27年度は「ことば療育支援センター設置」
準備活動を愛知県より開始します。チラシを参照
*各地域 前期(予定):大阪 3月 東京:6月

■26年度 ことば音楽療法指導者 セミナー (全国で約150名が参加)



笑顔は人を引き寄せる力があります。コミュニケーションの手段は言葉だけではありません。笑顔が潤滑油になり会話が進むことになり、その人の印象を良いものにします。人は笑顔で返されるとつい口に出して話してしまうこともあります。家族団欒の際に、笑顔で楽しくお茶を飲んだり、食事をする事で、子どもは多くの話しをしてくれ、お互いの心の安定につながります。笑顔は人間が持っている自己表現であり、笑顔で人が集まれば、情報や知識も幸せも集まるのです。更に、脳にも笑顔は良薬になるようです。勿論、笑顔に温かい言葉を添えることも忘れないように……

私も来年は還暦(ピンとこないが?確実に年は積み重ねている)になります。退職の年齢ですが、人生後半の大きな節目と考えます。少しでも社会に還元できる期間「還元期」と考え、行動して行きたいと思っています。皆様もしっかりした計画や目標をたて、自分が出来る最大のパフォーマンスを行動に移して下さい。来年も皆さまにとり、よい年になるように願っております。学会共々宜しくお
願い申し上げます。

事務局 高田陽司

日本ことば療法学会ホームページ
日本ことば療法学会 →検索

事務局：愛知県名古屋市西区上小田井 2-98 発行部数：800部
電話&FAX：052(505)5255